

「生体医工学」執筆要項

2005年9月制定
2012年3月改訂
2012年12月改訂
2015年4月改訂
2015年8月改訂

1. 体裁

A4 版横書きとし、1 ページ目から表紙及び要旨を書き、その次のページから本文を記述する。余白は、上に 25 mm、下に 20 mm、左右に 15 mm とし、1 ページあたり 60～70 行とする。

本文のフォントは 10.5 ポイントを使用し、日本語の通常字体には MS P 明朝、太字には MS P ゴシックを、また英文の通常の字体には Times New Roman、太字には Arial を使用すること。詳細は付属のテンプレートを参照されたい。

表紙・要旨は 1 段組とし、本文は 2 段組とする。

2. 表題

第 1 ページに、下記の例に従って、和文・英文両方の表題、著者名、受付日、所属機関名称を書く。ただし、受付年月日は本会で記入するので空けておく。表題はできるだけ簡潔に書く。やむを得ず題名が 18 字を超えるときは、省略した題名を例にならって書き添える。

(例)

2 次元画面指標追跡による手の随意運動機能記録処理法

医工 太郎*，生体 次郎**

20XX 年 月 日受付

* 東都大学工学部電気工学科

** 難波電気工業(株)研究部

指標追跡による手の運動機能記録処理法 (略題)

A Recording and Processing Method for Manual Tracking of Two Dimensional Visual Target

Taroh Iko*, Jiroh Seitai**

* Department of Electronics Engineering, College of Science and Engineering, Tohto University, Tokyo, Japan.

** Department of Research and Development, Namba Electronics Industry Inc., Higashi-Osaka, Japan.

A Method for Manual Tracking (abbreviated title)

3. 要旨

- 1) 「研究」および「研究速報」には英文要旨(以下 abstract と称する)をタイトルに引き続いて記述する。Abstract は 350 語以内とする。

- 2) Abstract は、本文と切り離しても論文の主な内容と結論が分るように書く。本文中の図や式、文献の引用はしない。Abstract は抄録誌などにそのまま掲載されることがあるので、十分注意して書くこと。
- 3) 5 個までのキーワードを書くこと。
- 4) Abstract に続いて日本語要旨を添える。和英両要旨の内容はよく対応していなければならない。なお日本語要旨は英文の abstract を校閲するときの参考にするもので、印刷はされないが、「研究」の abstract は、独立行政法人科学技術振興機構 JST の文献データベースの作成に提供される。

4. 本文

- 1) 本文は要旨の次のページから書く。
- 2) 見出しの付け方は次のとおりとする。
 - 章の見出しは、1., 2.,と連番を付けて、行の中央に書く。
 - 節の見出しは、1.1, 1.2.....と連番を付けて行頭から書き、本文は次の行から始める。
 - 項の見出しは、1.1.1, 1.1.2.....と連番を付けて行頭から書き、本文は次の行から始める。
 - 項目の見出しは、1), 2),と連番を付けてから行頭を書き、1 字空けてから本文を続ける。
- 3) 本文は原則として常用漢字、新仮名遣いによる。術語は学会等で一般に用いられているものおよび文部科学省 JIS 規格で制定されたものを用いることが望ましい。人名、日本語になりきっていない術語などは原則として原綴りで書く。ただし、一般化している外来語についてはカタカナ表記とする。
- 4) 人または動物を対象とした実験に対する倫理的な配慮に関して記述すること。

例文 1) 研究はヘルシンキ宣言に則り、被験者のインフォームド・コンセントを得て行った。また、(所属施設)の(倫理委員会)の承認を得た。

例文 2) 実験は「研究機関等における動物実験等の実施に関する基本指針(平成 18 年文部科学省告示第 71 号)」に則って行った。また、(所属施設)の(倫理委員会)の承認を得た。

例文 3) 研究は厚生労働省の遺伝子治療に関する倫理指針に則り、(所属機関)の(倫理委員会)の承認を行った。

()内は該当する施設名、委員会名を記入してください。
- 5) 単位は国際単位系(SI)を原則とする。
- 6) 量を表わす記号は斜体、単位および元素記号は立体とする。
- 7) 括弧の順序は、{{ () }}とする。
- 8) 原稿はできるだけ簡潔に書き、式の変換、実験資料の提示などが冗長にならぬように注意する。

5. 脚注、引用文献

- 1) 脚注は¹, ²などの数字で示し、原稿用紙の下欄に書く。脚注は必要最小限に留める。
- 2) 文献の引用は、本文の引用箇所の出現順に通し番号を付けた[1], [3,5], [7-10]の形式で行う。また文献リストは、本文の末尾に一括して記載する。
- 3) 文献リストでは、著者名は姓・名ともに全員を記載する。単行本の場合には、翻訳があれば原著の後に記す。巻数はボールドにし、その他については次の形式に従う。

雑誌の場合:

- [1] 山田太郎, 上田次郎: CT 画像を用いた形成外科手術計画支援システム. 生体医工学. **43**(1), pp. 337-342, 2005.

- [2] Kohne KH, Yamaguchi T, Bernstein R: Interactive methods for nonlinear optimization problems. *IEEE Trans Med Imag.* **MI-5**(1), pp. 45–47, 1986.

単行書の場合:

- [3] Born M, Wolf E: *Principles of Medical Engineering*, 2nd ed. Pergamon Press, New York, pp. 69–94, 1988.
- [4] 山田太郎: 生体医工学の新しい地平. ○○出版, 東京, pp. 5–15, 2005.

分担執筆による単行書の場合:

- [5] Chandler S: Adaptive model control applied to realtime blood pressure regulation. *In: Black C ed. Pattern Recognition and Machine Learning*, McGraw-Hill, Berlin, pp. 310–324, 1985.
- [6] 上田光宏: 超音波組織診断. 日本超音波医学会編, 超音波診断. 医学書院, 東京, pp. 48–52, 1994.

Proceedings 等の場合:

- [7] Heel N: Automated blood pressure control using a self-tuning regulator. *Proc of NCGA'S Computer Graphics Conference '87, Vol. 2. Am Med Eng Soc. New York*, pp. 152–161, 1988.
- [8] 山田太郎: ××××(標題). 生体医工学シンポジウム2004 予稿集 (CD-ROM). 日本生体医工学会, 札幌, 2004.

特許文書の場合:

- [9] 山田太郎: 特公 昭 60–1234, 1985.
- [10] White AG: US Patent No. 1234567. 1982.

インターネット上の文献の場合:

- [11] ウェブページ製作者あるいは著者(PDF の場合など): ウェブページ名あるいは文書名(PDF の場合など). (URL) (閲覧日時). <<http://www.xxxx.com/yyy/bbb.htm>> [accessed March 8, 2001]

- 4) 文献は、一般に検索可能な公刊文献に限り、入手困難、検索不可能な文献は避ける。(文献として引用できないものの例: 社内資料、未発表論文、公刊されない学位論文、私信、カタログ等)

6. 図・写真・表

- 1) 図、表中の文字は英文(原則として小文字を使用)で書く。
- 2) 図・表・写真は別紙にせず、刷り上がりを想定して本文中の適切な位置に、適切な大きさと挿入する。
- 3) 図と写真は図 1, 図 2, あるいは Fig. 1, Fig. 2 のように、表は表 1, 表 2, あるいは Table 1, Table 2 のように出現順に通し番号を付ける。
- 4) また和文・英文併記の図題・表題を、図題は図の下に、表題は表の上に記入する。
- 5) カラー印刷を希望する場合、その費用は全て著者が負担する。費用は図版の数により異なるが、いずれにしてもかなり高額となるので、事前に編集部にも照会することが望ましい。

7. 著者校正

著者校正は 1 回限りとする。その際、誤植以外の修正、図版の修正は認められない。校正刷りは到着後 2 日以内に返送すること。これに遅れた場合は編集部の校正をもって校了とする。

8. 英文校正

英文要旨, 図表題で使用されている英語については, 専門の英文校正業者, あるいは所属組織の英語の専門家による校正を必ず受けること. また投稿票に, その旨を記載すること.

9. 別刷代

別刷は 50 部の倍数で請求できる. 別刷請求者は別刷の費用を全額負担する. 別刷代金は別途定める.

10. 投稿論文の撤回

- 1) 審査中の論文が訂正などのために著者の手許に返されたまま 3 カ月(生体医工学シンポジウム投稿論文の場合は 40 日)を経過した場合には, 原則としてその論文は撤回されたものとみなす.
- 1) 著者がやむを得ない事情で, すでに印刷に回った論文などを撤回した場合には, 著者はその実費を負担しなければならない.

11. 投稿にあたって

投稿原稿、規定の投稿票、誓約書は、PDF ファイルに変換の上、以下の URL より投稿して下さい。

<http://www.editorialmanager.com/jsmbe/default.aspx>

問い合わせ先は、以下の生体医工学編集部となります。

〒113-0032 東京都文京区弥生 2-4-16

(財) 学会誌刊行センター内「生体医工学」編集部

E-mail: tjsmbe@capj.or.jp

Tel: 03-3817-5821

Fax: 03-3817-5830

「生体医工学」投稿票

[*は記入しないこと]

* 受付№ _____

* 20__年__月__日受付, 20__年__月__日改訂/20__年__月__再改訂

1. 原稿の種類: [研究]・[研究速報]・[資料] (不要な種類を消してください)

2. 題 名

[邦文] _____

[英文] _____

3. 著者名 (適宜拡張し, 全員記入してください. 連絡責任者の左肩に○印)

[会員番号] _____, _____, _____, _____, _____

[氏 名] _____, _____, _____, _____, _____

[氏名英文] _____, _____, _____, _____, _____

4. 所属機関名称 (適宜拡張し, 全員記入してください. 連絡責任者の左肩に○印)

[和文] _____

[英文] _____

5. 連絡先 (住所・機関名称)

〒____-____

[住所] _____

[機関名] _____

[Tel]____-____-____, 内線____, [Fax]____-____-____

[E-mail] _____

6. カラー印刷希望 [有]・[無] (不要な方を消してください)

7. 次の事項をチェックし, □を■に変更してください.

引用文献の書き方は執筆要項に従っていますか.

日本語での投稿の場合, 英文要旨及び図表の英文は, 校正の専門業者もしくは所属組織の英語の専門家による英文校正を受けていますか.

8. 論文内容の一部を他の論文誌, シンポジウム, 講演会などで発表していませんか?

[一部を発表している]・[全く発表していない] (不要な方を消してください)

発表している場合には, その詳細を記し, 該当論文ならびに著作権の許諾を得た旨を示す資料を添付してください. 日本生体医工学会に発表の場合は該当論文の添付のみで結構です.

9. 著者もしくは生体医工学会ならびに他の団体が著作権を有する図を使用していますか?

[使用している]・[使用していない] (不要な方を消してください)

該当する場合には, その図番を以下に記入し, 図の使用の許諾を得た旨を示す資料を添付してください.
